



TCA

— NEWS —

Vol.101 2月号

発行

富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

CiCビル3F富山市国際交流センター内

TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643

発行責任者 広報・組織強化委員会

文化交流委員会

食品サンプル体験 11月28日(日)

食品サンプルを使ったクラフト作り（第1回おせち料理）の第二弾として、クリスマスリース作りを体験しました。間違っ、食べないように！



募集中です!!

多国言語文化交流クラス (オンライン講座)

パプアニューギニア

- 講師 Mr. Terence Kaidadaya
- 日時 令和4年2月12日(土)
15:30~17:00
- 申込み 令和4年2月8日(火)まで

※お話は英語で日本語の通訳があります。

英語プレゼンテーションクラス (オンライン講座)

**An Artist Working
with Glass & Nature**

- スピーカー Ms. Lisa Zerkowitz
- 日時 令和4年3月8日(火)
18:30~20:00
- 申込み 令和4年3月1日(火)まで

※お話は英語です。

令和4年度 日本語ボランティア養成講座

令和4年4月より開講予定

- 日時 毎月第2、第4木曜日
10:30~12:30
- 場所 富山市国際交流センター
会議室
- 定員 24名

※詳細については3月以降に当協会のホームページでご確認下さい。

災害時外国人支援語学ボランティア研修会 11月27日(土) 参加者21名 とやま市民交流館学習室 1～3

講師：吉富 志津代さん（特活）多言語センターFACIL／理事長 名古屋外国語大学世界共生学部教授
（一財）自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー

第1部 講演「誰も取り残さない、災害に強いまちづくり」

災害自体の規模を縮小することはできないが、社会の脆弱性を減らすことでダメージをある程度押さえることはできる。その際のキーワードがコミュニティ防災である。地域社会の共助（地縁・血縁・宗教組織などの「公」と「私」の間にある組織間の助け合い）を中心にコミュニティの災害対応能力の向上を目指すことが大切。地域の多様な人たちが共助メンバーであることを忘れてはならない。

阪神・淡路大震災で気づいたことは、「住民とは、国籍や出身に関わらず、そこに住んでいる人すべてである。」ということだ。多様性を重視し、少数者自身の視点・発信も大切にしなければならない。

東日本大震災の際、同胞のために自ら動いた外国人グループは、ことばの壁、心の壁をなくすため、情報を多言語化したり、ラジオを活用してネットワークを作ったりなど、移民コミュニティのエンパワメント（一人ひとりが本来持っている力を発揮し、自らの意思決定により自発的に行動できるようにする。）を行った。外国人を含むすべての住民にとって「つながりと支え合い」、「居場所」、「出番」が大切である。

情報を通訳・翻訳する前に「やさしい日本語」に直す場合、何が重要かを考えて文化の違いを念頭に置くことが大事である。またデマやあいまいな情報に惑わされずに情報源を確認することや、被災者が市役所等への申請をする際にサポートできるように知識を得ておくことも必要である。



第2部 情報伝達に必要な語彙や表現の訓練

英語、中国語、韓国語の3つのグループに分かれて、内閣府・消防庁作成「知っておくべき5つのポイント」※の翻訳練習をした。コロナ下における避難は、従来とは異なるので外国人住民への伝達がさらに重要になる。また、翻訳時には、基になる日本語をわかりやすくする（「やさしい日本語」）と同時に、英語はネイティブ以外の外国人住民も見るので、やさしい英語にする配慮も必要である。

※抜粋（1）安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。（2）安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。（3）マスク・消毒液・体温計自ら携帯。（4）市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。市町村ホームページ等で確認。（5）豪雨時の屋外の移動は車も含め危険、やむをえず車中泊をする場合は、周囲の状況等を十分確認。

M P Bで学ぶポルトガル語講座 講師：白川 セリナ サナエ（当協会ポルトガル語相談員）当センター

8月／9月

「大人になっても夏休みの宿題」

新型コロナ「ステージ3」の影響により、対面授業は中止。代わりに先生からメールでポルトガル語の課題が届き、それを解いて過ごした。課題自体は難しくないのだが、PC操作に落とし穴が…例えば、A欄の単語と、B欄の関連する単語を矢印で結ぶ問いで、矢印の描画の仕方がわからないという問題以前の問題に悩んだ。図形の形を答える問いでは、真円（○）の縦横比が何かの拍子に変わって、楕円になってしまうという初歩的なトラブルに私だけが見舞われていた。赤面の至りだが、対面授業でないのがこれ幸いだった。

10月11日（月）／11月8日（月）

「70年代ロックがじっくりくる世代」

対面授業に戻った10月と11月の講座では、Rita Lee（ヒタ・リー）の Lança Perfume（香水かけ）と Erva Venenosa（悪女）を歌った。リーは1960年代から50年もの間、現役で歌い続けた伝説の女性ロック歌手である。軍政下の言論統制を長く経験したブラジル人は、比喩や隠語を駆使して二重の意味を持たせた歌を好む傾向があり、リーの曲もそうしたテクニックで大変なヒットとなったそうだ。軽快なテンポとわかりやすいメロディーは、50～60代の日本人、つまり受講生たちのツボにドンピシャリとはまり、みんな鼻歌まじりに教室を後にした。

※12月13日（月）は、「ブラジルのクリスマスソングを歌おう！」というトピックで実施しました。

「外国人生活支援ポータルサイト」（出入国在留管理庁）

<https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/index.html>

日本に在留する外国人の方々やその支援者の方々に對して有用な情報が掲載されています。多言語でも掲載されています。アクセスしてみてください。

講演 「外国の方たちのワクチン接種への不安や質問」 講師 譚 俊偉さん 岡山県総社市 多文化共生推進員

講師はブラジルに生まれ、日系人の多い地区で育ったので、日本の文化に興味を持つようになったそうだ。1996年の来日以降、様々な職場で外国人の相談に乗るとともに日本語能力に磨きをかけ、2009年に岡山県総社市の外国人相談員として採用された。

総社市は国際感覚の鋭い市長の下、市が掲げる5つの柱（外国人相談、コミュニティ交流、日本語教育、就労支援、医療・防災支援）は、在住外国人の暮らしの大きな助けとなっている。外国人住民は人口の2.6%を占めている。多文化共生推進員・外国人相談窓口（通訳）を設置し外国人住民の声を直接聞き施策に反映、また広報誌の多言語化・外国人世帯への配布・市HPやFacebook等で配信をし、情報提供を行っている。今回のコロナワクチン接種においてもそのことが効果的に働いた。全国でもいち早く外国人に向けての接種の説明会や訓練、市民との情報共有を図る会議、外国人向けの窓口設置などのサポートを行った。結果、外国人の接種完了者は相当数に達しており、外国人住民の多い町や市のモデルとなっている。



《接種会場で立ち合いをして感じたこと》

- ・持病（糖尿病 高血圧など）がある方が不安に思っているが、事前に医師に確認せずに来る人が多々いる。
- ・ワクチンの説明書を渡し、最後に意志を確認する。自分で選ぶ→受けたくないという人もいる。→自由選択なので、打ちたくなければ打たなくていい。職場から強制 会社に言われたから来た人もいる。
- ・アレルギーについて聞かれても、本人もよくわからない。
- ・副反応について心配 どういう場合に薬を飲んだらいいのか。

- ・解熱剤（パファリン等）を聞いたことがない。いくらで、どこで買えるか。
- ・予診票 名前はカタカナで書いてもらうこと。
- ・もし気分が悪くなったならどうしたらいいかを教えてあげる。→連絡先 病院や119番
- ・2回目が決まっているが、都合が悪い場合がある。
- ・不安な人に対しては、通常15分の待機を30分待機してもらったり、当日の夜に電話をかけて状況を確認した。

新型コロナウイルス拡大で国の「まん延防止等重点措置」（ステージ3）のため日程を変更し、対面からオンラインで第1部の講演のみ開催した。譚さんは週末の日中はワクチン接種会場での立ち合いをされており、今回はその立ち合い終了後の夜に、講演をしてくださった。

外国語ボランティア養成講座 後期 とやま市民交流館・当センター

第1回 とやまのくすり

10月23日（土） 参加者30名

第1部「くすりの富山の歴史」

講師 富山市薬業物産課

課長代理 小向 圭さん 主事 古川 航さん

薬都富山といわれるゆえんは、製薬会社の数の多さとそれゆえの全国第4位の生産額（人口一人当たりの生産額は第1位）、および周辺関連企業の豊富さにある。原材料メーカー、製剤機器メーカー、印刷業、包装紙業、ガラス瓶・アルミ缶・チューブ等製造会社、パッケージデザイン会社などである。富山藩2代藩主、前田正甫公による殖産興業策で先利後利の商法で始まった売薬、つまり医薬品配置販売業が藩や仲間組のバックアップで栄えた300年の歴史の重みもある。明治以降、西洋の化学薬品も取り入れ、さらに字が読めない人のために、イラストを多用したパッケージデザインなどの工夫もしている。人・薬・信用を3本柱とした商法が功を奏して、富山の3大魅力（食・薬・自然）の一つに数えられるようになった。ただ売薬従事者は、ここ30年余りで10分の1程度に減っている。県や市としても売薬資料館などの観光施設の充実や薬膳料理の普及推進、ガイドブックやマップでの観光客へのアピール、「富山の置き薬」という書籍の出版、薬関連のお土産品の開発、薬の語り部の育成など、薬業を盛り上げていくように努めている。

第2部 表現練習

英語（初級、中級）中国語、韓国語に分かれて、富山市民俗民芸村の売薬資料館を訪れた想定で、通訳練習をした。

第2回 年中行事（冬から春）12月25日（土） 参加者25名

第1部 冬から春の行事

銭 輝（中国・当協会相談員） 宋 善珠（韓国・当協会相談員）

Boyd Sugikiさん Lisa Zerkowitzさん（米国）

ヴィラート あこさん（ドイツ/ベルリン在住 録画）

各国の12月から4月までの祝日や行事について、テーマを絞ってお話しいただいた。（ヴィラート あこさんは、時差8時間のため前日録画動画を上映）

＜中国＞ 冬至は陰が極まる日なので、かぼちゃ等の身体を温めるものを食べる。その後の9日を1単位として季節を区切っていき、最後の9回目で暖かい春が来ると信じられている。

＜韓国＞ クリスマスは4月のお釈迦様の誕生日と同様に国民の休日で大切な日である。学校の長い冬休みが始まる時期でもあり、皆ウキウキしている。1月1日は新正（シンジュン）といい、新暦では休日がこの日1日だけだが、お餅を食べたり、お年玉がもらえたりなど日本と共通の習慣もある。旧暦の1月15日は大ボルムといい、五穀米を食べて1年の無病息災を祈る日である。

＜米国＞ クリスマスは近年ことさら商業化が進み、11月の感謝祭の頃から雰囲気が高まり大変な額の消費がなされる。ただ、キリスト教の行事でもあるので祝わない人もいる。新年は元日のみ休みで2日から働き始める。1月17日は、公民権運動のリーダーであったキング牧師の誕生日で祝日となっている。2月21日は、初代大統領ワシントンの誕生日だが、歴代の大統領を称える祝日でもある。

＜ドイツ＞ クリスマス前の4週間はアドベントといって1年で1番大切な喜びにあふれる時期で、他の宗教の人とも一緒に祝う祝日となっている。この時期だけのいろいろな食べ物もあり、大都市だけで2,500を超えるクリスマスマーケットが開かれ（講師在住のベルリンで70以上）、多くの外国人観光客も訪れる。

第2部 表現練習（英語2クラス、中国語、韓国語）

冬至にはかぼちゃとゆず、お正月にはおせち料理や関連用品など、スーパーマーケットには、季節ごとに行事のための食材等が一斉に並ぶ。外国の方たちは、不思議に思いながらも分からずに通り過ぎていくと思うが、由来や内容を知ることによって、より日本文化を理解でき、楽しめるきっかけとなる。今回は、スーパーマーケットで聞かれたという想定で練習した。

委員会報告

総務企画

総務企画委員会 国際交流TCAカレッジ&姉妹友好都市委員会 特別講座

姉妹友好都市

「アルゼンチンを知ろう!!」 11月14日(日) 参加者 24名

コーディネーター 松山 優子さん (JICA北陸 富山県デスク国際協力推進員)

講師 宮崎 統五さん (シニア海外協力隊) 宮村 登茂子さん (日系社会シニア海外協力隊)

前半のパネルトークでは、JICA北陸富山県デスクの松山さんにコーディネーターをお願いして、〈食〉、〈人〉、〈経済・治安〉、〈文化・スポーツ〉の4つの項目で、シニア海外協力隊経験者のお二人にお話しいただきました。

エンパナダというパンが有名で、牛肉や鶏肉、野菜、シーフードなど地域によって中の具は異なるそうです。日本ではチリワインが有名ですが、アルゼンチンでもマルベックというぶどう品種を中心に生産されているそうです。有名人では、サッカー選手のマラドーナやメッシの名が挙げられますが、エビータの愛称で親しまれたエヴァ・ペロン元大統領夫人は、今なお人気があるそうです。田舎の貧しい家に生まれながら女優を経てファーストレディーにまで上り詰め、社会の底辺で暮らす人々の保護に努め、アルゼンチンの政治・経済に大きな影響を与えました。



街の治安は決して良いとは言えず、マンションの12階でも窓には防犯用の鉄格子がはめられているそうです。

後半の体験談では、お二人それぞれの専門分野(養殖魚の疾病調査の技術指導や日本文化紹介)についてお話しいただきました。

現地の医療やインフラなど参加者からの質問も活発で、「アルゼンチンの好きなところは?」の問いかけには、「仲良くなった人々の温かい心」と返答されたのが印象的でした。

日系の人はいますが、日本語を話せるのはだいたい2世までらしく、アルゼンチンで生きていくと決めているので親御さんも強いることはないそうです。言葉も習慣も異なる地で生き抜くための強さと引き換えの哀しさを感じました。

総務企画

令和3年度特別研修 ～SDGsから学ぶ「持続可能な社会の創り手」への一歩～

“世界がもし100人の村だったら” 2021 10月26日(火) 参加者 18名

講師 松山 優子さん JICA北陸 富山県デスク 国際協力推進員

(元青年海外協力隊員 メキシコストリートチルドレン支援)

今、世界には78億の人々がいますが、それを100人の村に縮めるとどうなるでしょう? JICA北陸の松山優子さんを講師に迎え、ワークショップを行いました。

参加者は、各自に渡された「役割カード」に書いてある年齢・地域・言語などに従って移動します。世界の人々の縮図として実際にグループに別れることで、二酸化炭素の排出量や使用言語、富の偏りなどが可視化され、普段規模が大きすぎて想像も及ばなかったことが良く理解できました。「エッ?少ない!」「こんなに差があるんだ!」と、単に数値で説明されるよりも新鮮に感じました。現状を知ること、なぜSDGsを重要視していく必要があるのか理解を深められたと思います。



講師からの問いかけ:「あなたがこうなって欲しいと思う数十年後の未来ってどんな世界ですか?」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国内研修を特別研修に変更しました。

文化交流

食品サンプル体験 11月28日(日) 参加者 17名

講師 滝川 真弓さん TTサンプル (一社)日本食品サンプルアート協会 認定インストラクター

昨年はお正月飾り(おせち料理)でしたが、今回はクリスマスリースに挑戦しました。

まず、土台となるリースを決めます。金や銀、カラーのキラキラモールが巻かれたリースの中から好きなタイプと、中心の飾りのミニベルを選びます。

次に、食品サンプルの中から76gの範囲内で好きなパーツを選んでいきます。色とりどりのアイスクリームや様々な形のクッキーとチョコレート、キウイやラズベリーなどのフルーツといったパーツの種類の豊富さにうれしく悩みながら決めていきました。

いよいよ、クリームをしぼってパーツをリースに盛り付けていきます。本物のケーキ作りのようにクリームをしぼるのですが、上手いかなくてもパーツを乗せるときれいな仕上がりになるとの先生の説明にホッとしました。しぼり始めは力の加減が少し難しかったのですが、リース全体に大小のクリームをしぼってパーツを乗せていくと、立体的で豪華な仕上がりになりました。

クリームが乾くまでの間、参加者同士で完成したリースを鑑賞します。選んだパーツは似ていても異なるで仕上がりで、それぞれの個性が活きた世界に一つのクリスマスリースになりました。完全に乾くには一晩かかるので、クリームの角をつぶさないようにそっと持ち帰りました。

講師 角谷 昭美 さん

何と！講座を担当してもう20年近くになります。受講生の皆さんの驚くべき向学心に支えられながら共に勉強する機会をいただき、とても感謝しております。

最近、古くからのウクライナの友人とその奥様（アルメニア出身）に協力を仰ぎ、講座でオンライン会話を試みています。時差の関係でこちらの講座の時間に合わせると向こうの朝の7時頃だったり、またアプリのトラブルがあって順調にいかんかったりするのですが、友人は「またやるときには連絡してね。」と快く協力してくれています。

オンラインではお互い自己紹介をして趣味の話、天気の話をしたり、一緒に日本語やロシア語の歌を歌ったり、あるテーマについてプレゼンや質問をしたり、また友人宅の家の中やお庭を中継して見せていただいたり、こちらの教室の様子も見てもらったりしていて、いつも「いい環境で勉強しているね。」と言われます。

先日は、「お正月の過ごし方」をテーマに各自のお正月の過ごし方を紹介し情報を共有して楽しみました。

新型コロナや自然災害、また政治的な問題等心配の種は尽きませんが、互いにつながり、話をして友情を交わし、幸せに生きていくために私たちは勉強しているのだと思います。



多国言語文化交流クラス

◇ 10月9日（土）ポーランド & ポーランド語（オンライン） 講師 西岡 カタジナ さん

面積は日本より少し小さく、人口は日本の1/3で、EUに加盟している。首都ワルシャワは、第2次世界大戦で破壊されたため、戦後に建てられた新しい建物がほとんどである。一方、以前の首都クラクフは戦災を免れ、中世そのままの町並みが残されていて、1978年にはユネスコの世界遺産に登録されている。カタジナさんの故郷ウッチや北の港町グダニスクの紹介もあった。

著名人では、ノーベル物理学賞とノーベル化学賞を受賞したキュリー夫人や、地動説を唱えた天文学者コペルニクス、音楽家のショパン、ノーベル文学賞（2018年度）を受賞した小説家のオルガ・トカルチュクがポーランド出身である。

ポーランド料理で、よく食べられるのはジャガイモで、スープもよく飲む。ジュレック（ライ麦を発酵させた液体から作る酸味のあるスープ）が有名である。大切なイベントの時や日曜日にはロスウ（チキンスープ）を食べるそうだ。オスツベックというヤギのミルクで作ったチーズもとてもおいしい。昼食は日本に比べると少し遅めの時間で、夕食はスープやサンドイッチなど軽めのものを食べる。



教育制度で日本との違いは、大学入試はなく、高校の卒業試験があって、その結果で大学が決まる。公立大学の学費は無料だが、入学も卒業も大変とのことだった。

お勧めの観光スポットの中で、世界遺産のヴィエリチカ岩塩坑があった。2005年に名古屋で開催された「愛・地球博」のポーランド館では、ヴィエリチカ岩塩坑の一部がメイン展示としてパビリオンの内部に再現されていたのが印象に残っている。

最後に、簡単なポーランド語のレッスンもあり、アルファベットや挨拶、趣味の表現を学んだ。

◇ 11月6日（土）スペイン・バルセロナ & カタルーニャ語（対面） 講師 Mr. Gerard Turrau Riro
通訳 安藤 登己子 さん（スペイン語）

バルセロナはスペイン・カタルーニャ州の中心都市です。カタルーニャ州独立運動は近年でも繰り返し報道されていますが、なぜそれほどまでに独立を目指すのか、それは日本人の私たちには理解し難いことでした。しかし今回ジェラルドさんがカタルーニャ地方とバルセロナの歴史を話して下さったことで、理解が深まりました。カタルーニャ地方は独立した国であったこと、後継者問題から発展した戦争に負けてカタルーニャ語の使用を禁止されたこと、そのためバルセロナは城壁の中だけでの経済活動を強いられたことなど、過去の歴史が現在のカタルーニャに住む人々の独立心を形成しているのだとわかりました。

また、ガウディやモンタネールといった独創的な世界観の建物も紹介され、イスラム教の文化とキリスト教の混ざり合った文化に魅了されました。

歴史を知ることは今の姿を理解することに繋がる、ということに改めて気づかされたジェラルドさんのお話でした。



◇ 12月11日(土) **ラトビア～ラトビアのクリスマス～** (オンライン) 講師 オレグス・ピシュチコフスさん

面積は北海道の77%で、人口は200万人弱。今年(2021年)は、日本・ラトビア友好100周年記念の年です。

冬至祭(12月22日頃)には、全国でクリスマスツリーの丸太引きが行われ、歌や踊り、厄払いの意味を込めてたき火が焚かれます。また、ケカタスと呼ばれる仮装イベントもあります。

クリスマスには、アドベント[※]、断食(肉・乳製品・卵を食べない。魚は可)、クリスマスミサがあります。クリスマスの4週間前からアドベントが始まり、ツリーには永遠の象徴であるトウヒ(エゾマツの変種)を使います。わらと糸で作る飾りは、邪気を払うお守りとして天井や窓に吊るします。太陽と永遠を表すクリスマスリースは日本でも広まっています。

クリスマスの食べ物は、ドイツやロシアの影響を受けていて豚バラ付きグレイピース(エンドウ豆の一種)やコチャ(大麦と肉のおかゆ)、ピラーギ(豚肉を使ったピロシキ)、豚足や豚鼻のローストなどがあります。

クリスマスの夜の食事に関する風習がいくつかあるそうです。

- ① 新年に豊かな食事を確保できるように何度も食事をし、毎回完食せずに精霊のために少しお皿に残す。
- ② 翌年の豊作を願い、エンドウ豆やインゲン豆を食べる。

また、ラトビア文様の中に、井戸字「✕」があり、クリスマスのシンボルで、4つの十字架に囲まれた太陽を表し、装飾やろうそくに使われます。「DAINAS(ダイナス)」と呼ばれる、何百も現存するユニークな民謡の紹介もあり、様々な伝統や文化を大切に継承しておられることを実感しました。

2020年10月まで県国際交流員をされていたオレグさんに、リモートでプレゼンテーションしてもらいました。ラトビアとは7時間の時差があり、こちらの開始時間午後3時半は、ラトビアでは午前8時半でした。日の出が9時頃ということで、始まったころはまだ真っ暗な様子でしたが、終了する頃は明るくなっていて、窓の外を見せてもらおうと雪化粧した街並みでした。気温がたいへん低く、在宅での勤務も多いとのことでした。リモートならではの体験もできた1時間半でした。

※イエス・キリストの降誕を待ち望む期間で、日本語では待降節、降臨節、または待誕節という。



英語プレゼンテーション

●9月14日(火) (オンライン)
Mr. Boyd Sugiki (米国出身)
富山ガラス造形研究所 准教授
“My Glass Journey”



●10月12日(火) (ハイブリッド)
Mr. Greg May (米国出身)
英語講師
“Music where I'm from”



●11月9日(火) (ハイブリッド)
Mr. Calen Keath (カナダ出身)
しろくまイン オーナー
“Tales of the Mighty
Jirokichi, and the Urakata
Well of Iwase”



●11月30日(火) (対面)
Ms. Kristina Mar (ポルトガル出身)
富山ガラス造形研究所
「アーティスト・イン・レジデンス」ガラス作家
“作品制作とポルトガルについて”



ディスカバー富山 (英語通訳ガイド実地研修) 10月16日(土) 訪問先: 富山県美術館

参加者16名は、フィリピンと米国出身の2名に自己紹介したり、周辺の事物を説明したりしながら歩いて県美術館に到着した。美術館では学芸員の方の説明を2班に分かれて交代で英語で説明するのだが、芸術関係の通訳は本当に難しい。それにしても3階のホワイエからガラス越しに見える立山連峰の何と美しい事が! 屋上庭園「オノマトベの屋上」では思いがけず、館長さん自ら説明をしてくださった。参加者の一人ドミソンさんは、ICT(情報通信技術)を使ったビジュアルアートに興味があるということで、デジタルコレクションウォール(大型タッチパネルディスプレイで来訪者が展示内容をさらに詳しく知ることが出来るようになっている装置)を食い入るように見つめていた。お二人とも大変話しやすく、英語もきれいで充実した交流を持てたと思う。何度も来ているが、今回初めて知った事実もあり、改めてこの美術館の凄さがわかりとても誇りに思えた。

(神保 正)

◇ 中国 ◇

銭 輝 (当協会中国語相談員)



「柳暗花明」

南宋の詩人、陸游は高級官僚を辞任させられ、故郷で3年間閑居していた。4月のある日、うららかな春景色の中、彼は一人で歩いていた。山が重なり川がいくつにも分かれて、道が無くなったが、角を曲がると柳と花の春景色の間から村が見えた。そこで「山重水复疑无路，柳暗花明又一村」の名句を作った。

人生は順風満帆ではなく、険しい困難に遭ったとしても必ずしも絶体絶命はなく、苦境を経た後に希望が見えてくる。自信を持ちさえすれば、成功することができる。(コロナの現状にも例えられる。)

「如虎添翼」(鬼に金棒)

7歳の虎は、「七七四十九の山を登り、七七四十九の川を渡り、七七四十九の国を歩くと、神様に会えて、願い事を一つだけ叶えてもらうことができる。」という話を聞いた。20年もの間、たくさんの苦労を重ねた結果、ついに伝説の通りに神様に会うことができた。神様が虎に「あなたの望みは何ですか」と尋ねると、虎は「翼がほしい」と言った。虎は神様から翼をもらって、名実共に森林の王となった。

強い人がさらに強くなるたとえ。

「胸有成竹」

北宋時代の文同という竹を描くのに長けている画家に由来する。

竹画を描くために文同は自分の家の庭に多くの竹を植え、細かく竹を観察していた。季節と天気によって、竹の形は全て違う。あまりにも長年竹を細かく観察してきた故、下書き無しに竹をスラスラ描けるようになったことから、十分に自信がある姿を「胸に成竹あり」と言われるようになった。

「三个臭皮匠赛过诸葛亮」

一人で考え悩み解決できない事も、みんなで協力すれば解決できる。直訳すると、「三人の靴職人も三人寄れば諸葛孔明に勝る」。諸葛孔明は、三国志に登場する稀代の天才軍師として知られる偉人です。凡人(靴職人)でも三人集まれば、天才(諸葛孔明)に勝てる。つまり、「三人寄れば文殊の知恵」の意味になります。

◇ オーストリア ◇

ツォウベク・ウォルフガング さん 富山大学人文学部教授



“Alte Liebe rostet nicht”

「古い愛は錆びない」

初恋を忘れないということの意味ですが、恋人への愛だけでなく初期の情熱、例えば趣味などにも使う事ができるでしょう。長い間忘れてしまっても、またその情熱を取り戻すと言う意味です。

“Glücklich ist, wer vergisst, was nicht zu ändern ist”

「“変更できないこと”を忘れる人は幸せだ」

ヨハン・シュトラウスのオペレッタ「コウモリ」のセリフでオーストリア人らしい心情です。精神分析を発明したウィーンのジークムント・フロイトの教えでは、不快な過去の記憶の抑制は精神的に健康ではないとされています。しかし、常に過去の損失または敗北だけを考える人は確かに幸せな人ではありません。嫌なことは忘れるに限ります。これが本当のウィーンらしさ。

“Besser der Spatz in der Hand als die Taube auf dem Dach”

「手のひらの上のスズメは屋根の上の鳩よりも良い」

捕まえたスズメは小さな成功で、すでに手に入れたものだが、鳩はまだ遠い夢を意味します。鳩は飛び去って逃げるので、人生ではおそらく将来の大きな勝利よりも小さなことでも満足したほうが良いのです。将来の成功は幻想に過ぎないかもしれないからです。

“Auch ein blindes Huhn findet einmal ein Korn”

「盲目の鶏さえも一度は穀物を見つける」

才能がない人さえも運が良ければ成功し目標を達成できることを意味します。

富山県民ボランティア・NPO大会パネル展示参加 10月16日(土) グランドプラザ

「広げようボランティアの輪」をスローガンに開催されたボランティア・NPOフェスティバルに参加しました。様々な分野の34団体が活動紹介(パネル展示)に出展していました。また今回から、団体PR動画参加というジャンルも増え、22団体が参加し、会場であるグラントプラザの大スクリーンには、団体PR動画が繰り返し流されていました。動画作成に慣れていない団体には、事前に動画作成の講座もあったそうです。

この日は、新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いた時期だったので参加団体も多く、当協会の活動を紹介するいい機会となりました。

お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642 FAX 076 (444) 0643
E-mail info@tca-toyama.jp

これからの講座・イベントカレンダー（2月～3月）

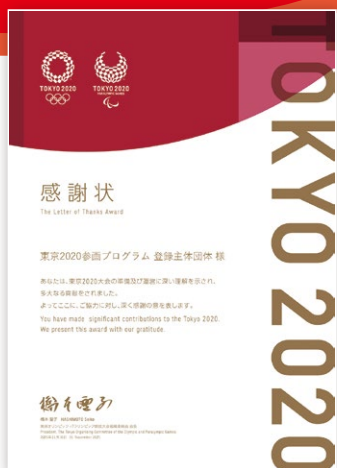
日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
2月12日(土) 15:30～17:00	多国言語文化交流クラス（オンライン講座） 「バブアニューギニア」 講師 Mr.Terence Kaidadaya	30	オンライン	国際教養	無料	会員
2月27日(日)～ 3月4日(金)	国際交流ウィーク in TOYAMA（別添チラシ参照） 講演会、ワークショップ・国際理解講座、 にほんごチャット、日本伝統文化体験 活動展示 他	—	CiCビル3階 会議室・学習室	—	—	—
2月27日(日)	華道体験	20	当センター	文化交流	未定	会員・外国人
3月8日(火) 18:30～20:00	英語D Presentation Speaker: Ms. Lisa Zerkowitz Topic: An Artist Working with Glass & Natur	30	オンライン	国際教養	無料	会員

※ 行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/>でご確認いただくか、協会までお問合せください。

※ 休館日（2月～3月）・・・2月15日(火)・16日(水)、3月15日(火)

東京2020 組織委員会参画プログラム事務局より 感謝状

東京2020参画プログラムに2019年5月総会講演会及び2019年11月国際交流フェスティバル（国際交流フェスティバル2019実行委員会主催）を主体登録し実施しました。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より2021年11月に感謝状が届けられました。



事務局よりメッセージ

新型コロナウイルス感染症が拡大してから、はや2年が経ちました。大々的な交流事業の開催はまだまだ難しく、講座については受講生の方々の協力を得て、感染状況を勘案しながら、オンラインを併用し開催しています。オンラインを使うことにより、県外や海外の方々からお話を聞いたり、交流したりできるようになりました。韓国語、ロシア語、多国言語文化交流クラスなどで行っています。コロナ下は、たいへんなことが多いですが、前向きに考えて進んでいきたいと思っています。

状況を鑑みながらですが、対面での開催もしています。オンライン講座も、会議室での視聴が可能なので、ご参加下さい。イベントに関しては、決まり次第ホームページに掲載していきます。

コロナ下で留学生や技能実習生が入国できない、また入国できても孤独で困っている話を聞きます。早く様々な事業が再開できることを願うばかりです。

それぞれの国には様々な伝統文化があり、大切に継承されていることを今回の記事を読みながら感じました。日本では、お正月前後の時期は特に伝統文化を体現する機会です。ただでさえ伝統文化が消えつつある昨今、このコロナで時代が変わっても、伝統文化を大切にすることは忘れてはいけないと思います。

◆新規会員募集中◆

富山市民国際交流協会では、市民のみなさんが幅広く参加できる国際交流を推進するため、新規会員を募集しています。
みなさんも私たちの

ご入会特典

- ★協会広報誌TCA-NEWSをお送りします。
 - ★各種イベントのスタッフとしてボランティア活動に参加し、外国の方と交流できます。
 - ★語学講座や研修旅行、講演会に参加できます。
- （年会費）個人会員 3,000円
家族会員 5,000円
法人・団体会員 10,000円

編集後記

新しい年を迎え、3度目のコロナワクチン接種が始まっています。コロナ後に向けて私達の活動も復活しつつあります。2月27日（日）から3月4日（金）の週に富山市民国際交流協会・（公財）とやま国際センター共催による国際交流ウィークが開催されます。

今年の干支、「寅」にあやかって、細心の注意を払いながらも、困難にも果敢に挑戦していきたいですね。2022年が皆さんにとって、より健康で、楽しい一年になることをお祈りいたします。



ソーシャルディスタンスの確保を意識しようね！



周囲に人が多いところではマスクをつけようね！



こまめに手を洗おうね！